

3月定例会一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信をしていますので、ご覧ください。

公明党 藤浪 清司 議員

少子化対策について

(質問) 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援として、ワンストップで対応できる総合相談支援窓口を開設してはどうか。妊娠期から定期的に、健康診断・予防接種・各種手当などの子育て情報をメールで配信するサービスを行ってはどうか。子ども医療費助成を近隣他市に後れを取ることがないように、通院中学校卒業まで拡充

すべきだがいかがか。

(答弁) 子育て支援総合窓口の創設に向けた調査及び、計画策定に取り組んでいきたい。子育てに関する情報をメルマガとして配信するサービスの実施にあたり、子育て応援サイトや、メルモニのシステムの活用を検討したい。子ども医療費の通院中学卒業までの拡充については、実施に向けて早期に課題の整理検討を行いながら、準備を進めていきたい。

その他の質問 ○タブレット端末の活用について
○聴覚・言語障がい者対応緊急通報システムについて

すすか倶楽部 鈴木 純 議員

津波防災・減災対策の強化について

(質問) 巨大地震が発生した時に市民の命を守る津波避難ビル・命山などの確保、整備目標についてどう考えているか。地域防災計画によると「大地震時には原則として徒歩で避難する」とあるが、現在十分な緊急避難場所がないことから、要援護者だけは地域によって自動車を使用して避難できるルールをつくり市民にも協力しても

らうようにすべき。

(答弁) 津波避難ビルについては指定に至っていない8施設を対象に交渉を行っている。自動車による避難については、浸水予測区域内の皆さんが、自力避難の困難な災害時要援護者を支援するために、地域の実情に応じた避難方法を考える中で、選択肢の一つとして検討していただくことが望ましい。本市としては自動車避難のルールづくり等に助言を行っていきたい。

その他の質問 ○マイナンバー制度の導入について

すすか倶楽部 中西 大輔 議員

地震災害への備えについて

(質問) 大地震に伴う火災は大きなリスク、現在の消防体制、県資料の計算式での消火可能件数、避難時の火災想定などについての考えは。事前復興について重要計画に位置付ける考えはあるか。

(答弁) 消防本部にはポンプ機能のある車両17

台、消防団に25台。建物火災1事案にポンプ車両を本部から4台、近隣消防団から4台が基本体制。県の計算式では大地震発生時の消火可能件数は約2件と出る。火災への対応について、自治会、消防団、自主防災隊などと連携して浸透を図っていく。

中長期計画や都市マスタープランなどのランドデザインを定める計画づくりに事前復興の視点を取り入れ、災害に強いまちづくりを進めていきたい。

その他の質問 ○重要計画策定について

開政クラブ 森田 英治 議員

市民の安全の対応について

(質問) 市民の安全に直結する横断歩道の修繕の進捗状況と対応。また、地下道の水害対策について伺う。

(答弁) 横断歩道の修繕要望件数と進捗状況は、平成25年度23件に対し11件、平成26年度20件に対し4件が完了。通学路は、合同危険箇所点検により

現地確認し、関係者と協議・対応をしている。通学路以外の横断歩道の安全確保についても、三重県公安委員会と連携を図り取り組んでいきたいと考える。

本市が管理している地下道は41か所あり22か所は排水ポンプを設置。他は自然流下による排水である。冠水の危険度が高い14か所には、冠水注意看板等を設置し、今後も危険度の高い車道の順に設置する予定である。冠水の恐れがあるときは、バリケードでの通行止めを地元管理人等との協力体制で行っている。

その他の質問 ○ICT教育推進モデル事業の状況と他校への還流について